

飛鳥資料館 春期特別展 「あすかの原風景」

飛鳥時代の遺跡と農村の暮らしが一体となった明日香村には、「日本の原風景」とも言われる眺めが広がっています。この歴史的風土を守るため、人々が立ち上がってから、ほぼ半世紀が経ちました。この間、村内では懐かしい農村風景が保たれながらも、集落の人口構成の変化や道路の開通、発掘調査の進展や遺跡の整備等により、少しずつ景色がうつりかわってきています。

江戸時代から近代にかけての飛鳥では、古代の石造物や古墳の高まり等が歴史家の注目を集めるいっぽう、飛鳥の小盆地とその周辺には、当時の日本ではあたり前の農村の景色が広がっていました。近代の地図や、昭和期の発掘調査時に撮影された写真等からは、飛鳥ブームが巻き起こる以前の「あすか」の原風景がうかがえます。

今回の展覧会では、これらの地図や古写真等の貴重な資料をもとに、明治期から昭和中期にかけての飛鳥の集落の様子を紹介します。この展覧会が、かつての村の姿をふりかえり、未来に伝えていく契機となれば幸いです。

(飛鳥資料館 西田 紀子)



飛鳥寺発掘時の飛鳥集落(昭和31年)

会 期：4月27日(金)～7月1日(日)月曜休館(祝日の場合は翌平日) ※4月30日、5月1日は開館

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

ウォークイベント：5月11日(金) 11:00～15:30(予定)古写真・古地図と歩く飛鳥(事前申込制)

ギャラリートーク：5月1日(火)・6月2日(土)各日14:00～

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問い合わせ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2018年3月